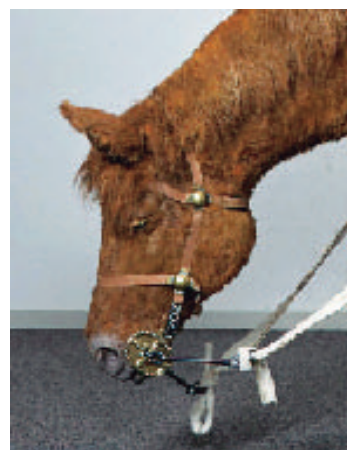


轡が語る 古代の乗馬



めがね塚古墳の馬具“轡” 本年サビ止めの保存処理がなされ、永年の保存が可能となった。



馬具“轡”をつけた馬

馬瀬口のめがね塚古墳に、轡くわと呼ばれる鉄製品が副葬されていた。轡は、ハミともいわれるもので、馬の口にくわえさせた馬具である。時代は古墳時代末期、今から1300年ほど前のものである。

馬は、前歯と奥歯の間に歯の生えない部分がある。この部分に轡をくわえさせれば、馬は轡を歯で噛むことはない。口中から、外に出た金具に手綱を付け、乗馬する人間がその手綱を引いた。手綱によるデリケートな指示が、馬の口に伝わり、馬を自由自在に操ることができたのである。この轡の発明によって、人類は移動・運搬・戦闘に有効な馬というものを手に入れることができた。

古墳時代に暮らしていた馬瀬口の人々は、おそらく自ら牧場を経営しており、たくさん馬を飼っていた。その馬に、こうした轡を取り付けられ、乗馬がなされたものと考えられる。めがね塚古墳出土の馬具“轡”は、人と馬のいた1000年以上前の浅間山麓の古代社会の様子を、今に垣間見せてくれる。

(広告欄)

現役東大生との交流会

- 日時：平成22年12月5日(日) 13時30分～15時まで
- 場所：エコールみよた 大会議室
- 参加料：無料
- 定員：30組60名さま(親子でご参加ください)
- 主催：大井建設工業株式会社
- 共催：NPO法人 あさまハイランドスポーツクラブ
- 後援：御代田町教育委員会

ご連絡先

0120-95-7576 24時間自動受付

FAX ●24時間ファックス受付 **FAX.0267-32-2935**

E-mail ●24時間メール受付 **vip@ooi-kensetsu.co.jp**

なお、先着順とさせていただきます。ご希望の方は電話やFAXでお申し込みください。

楽しい 交流会の開催

毎年、御代田町にある「カーリングホールみよた」には、全国からカーリングを楽しむ学生が大集合しています。最近はおリンピックの影響もあり、物凄い人気になっていますが、その学生の中に、現役東大生も大勢参加しています。

そこで、東大生にカーリングの試合が終わった後の時間を利用して、小・中・高校時代に身に付けた勉強法など、今までの経験を話していただく交流会を企画いたしました。勉強法は十人十色と言われています。ご参加いただいた皆さんには、1つでも多くのヒントをお持ち帰りいただきたいと思っています。

現役東大生に話していただく例をあげると

- ・小学校、中学校、高校時代の成功談と失敗談
- ・小・中・高の勉強がどのように活かされるのか、その実例とは？
- ・実際に行っていた勉強中の3つの工夫とは？
- ・東大はどんな所なの？
- ・オープンキャンパスをご案内します

なお、この交流会は親子で参加いただく、その効果は何倍にもなります。将来の受験勉強の時に役立つような知識をご両親もお持ち帰りください。

大井建設工業(株)大井康史

追伸 難しい話ではなく、小学生のお子さんにも分かるような内容です。ご安心ください。